

2019年度 研究センター事業報告書

研究センター名	中東・イスラーム研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなないできるだけわかりやすく記述してください。

■当センターの設置とその目的

「中東・イスラーム研究センター（Center for Middle Eastern and Islamic Studies, CMEIS〔シーメイス〕）」は、2019年10月1日に設置され、その目的は、立命館大学の総合私立大学としての強みを最大限に活かし、多様な学問的背景を持ったスタッフの力を結集することで、①学際性を特長とする総合的な中東・イスラーム研究を推進していくこと、そして、②最先端の研究の追求を通して、中東・イスラームに関する総合的な知を備えた次世代の研究者・専門家の育成に取り組むこととされた。

■初年度の活動（6ヶ月間）

初年度の半年間の活動としては、上記の目的に従い以下のように集約できる。

①については、メンバーの各種科研費などのプロジェクトや学会の報告に加えて、以下のようなイベントを実施した。ここでは、主に、(1)政治・国際関係、(2)文化・ジェンダー、(3)歴史・広域ネットワーク、(4)社会・経済システムの4つのユニット（研究領域）のうち、(1)と(2)に重点が置かれた。

- ・「エジプト映画『678』に見る性暴力の構造」（2019年10月21日 於：京都大学）（共催）
 - ・「アフガニスタンの過去、現在、未来～持続可能な平和を目指して～」(2019年10月25日 於：立命館大学)（共催）
 - ・設置記念講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く 国際研究教育拠点設置の意義と抱負」（2019年11月4日 於：立命館大学）（主催）
 - ・「現代イスラーム世界を眺望する 研究の最前線」（2020年1月11日 於：立命館大学）（主催）
 - ・「紛争を生きる ジャーナリストが見た戦時下の中東」（2020年1月25日 於：京都経済センター）（主催）
- ただし、Hamid Dabashi 氏講演会 ”Iran in the World Remapping the Globe”(2020年2月20日 於：立命館大学)、上海での講演会、ホノルルでの国際学会 (ISA) 2020年2～3月の企画については COVID-19のため中止となった。

②については、以下のとおりである。

- ・研究員の黒田彩加氏が10月に2019年度イスラーム文明研究ハダリー賞を受賞した。
- ・CMEIS Lecture Seriesとして10月に国内外から研究者を呼んで2回、若手の育成に取り組んだ。
 - 松尾昌樹氏(宇都宮大学)による講演「中東における石油と国際政治」(2019年10月14日)
 - Abdenour Bidar 氏(フランス国民教育省)による講演
 “Islam in France and Europe: a presence that worries public opinion and questions traditional identities”
 (2019年10月17日)
- ・上海学国語大学中東研究所の邹志强 (Zhiqiang Zou) 准教授を招聘して、中国の対中東政策についての研究会を開催した。(2019年12月19日)

なお、上海外国大学中東研究所との人的交流、研究協力関係の推進を目的とした MOU 締結に向けて、担当者間で諸準備を行なった。(2020年4月1日付けで調印・発効された)

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2020年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
センター長	末近 浩太	国際関係学部	教授
運営委員	阿良田 麻里子	食マネジメント学部	教授
	馬場 多聞	文学部	准教授
	吉川 卓郎	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	教授
	小杉 泰	アジア・日本研究機構	教授
	嶋田 晴行	国際関係学部	教授
	鳥山 純子	国際関係学部	准教授
	山下 範久	グローバル教養学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	アシャディオノ フィトリオ	政策科学部	助教
	黒田 彩加	アジア・日本研究機構	准教授
学内の若手研究者	ハシヤン アンマール	アジア・日本研究機構	専門研究員
	池端 露子	衣笠総合研究機構	学振特別研究員(PD)
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)			
客員協力研究員	円城 由美子	衣笠総合研究機構	客員研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
研究所・センター構成員	計 13 名 (うち学内の若手研究者 計 2 名)		

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2020年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	小杉 泰	『ムハンマドのことは——ハディース』	単著	2019年11月	岩波書店		
2	鳥山 純子	「コラム9 エジプトのウルフイー婚—個人的経験から見た信仰心のジレンマ」	共著	2019年11月	イスラーム・ジェンダー・スタディーズ1 結婚と離婚、明石書店	森田豊子、小野仁美編集	pp.199-204

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	末近 浩太	「レバノン：政治改革への一進一退」	単著	2020年1月	『中東動向分析』vol.18, No.9		pp.27-34	
2	末近 浩太	「『全面戦争は望まないが対立は続ける』イランとアメリカの複雑な関係」	単著	2020年1月	「現代ビジネス」講談社 (https://gendai.ismedia.jp/article/s/-/69720)			無
3	末近 浩太	「中東世論調査（トルコのシリア難民2019）」単純集計報告書」	共著	2020年1月	CMEPS-J Report No.51	今井宏平・高岡豊・浜中新吾・錦田愛子・山尾大・溝淵正季・青山弘之	pp.42	無
4	小杉 泰	「イスラームにおける「スンナ」の多義性とハディースとの相関性—ハディース学および法源学から見た位置づけ—」	単著	2020年3月	『イスラーム世界研究』第13巻、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科附属イスラーム地域研究センター		pp.108-129	
5	馬場 多聞	「乳香のはなし」	単著	2020年1月	『中東協力センターニュース』44(10)		pp.35-38	
6	馬場 多聞	「13世紀のアデン港課税品目録における東アフリカの輸出品」	単著	2020年3月	『立命館史学』		pp.73-97	
7	鳥山 純子	現代エジプトにおける高齢者介護—家族のダイナミクスに注目して	単著	2020年3月	立教大学ジェンダーフォーラム年報（21号）		pp.115-130	
8	吉川 卓郎	「イスラーム主義組織内の認同衝突：アラ伯の春後約旦哈希姆王国内的穆斯林兄弟會分析（イスラーム主義組織内部のアイデンティティの葛藤：アラブの春以降のヨルダン王国におけるムスリム同胞団の事例分析）」	単著	2020年2月	『全球政治評論』第69期、2019年		pp.1-6	
9	阿良田 麻里子	「ハラール認証と添加物—アルコールの扱いの変遷を中心に」	単著	2020年1月	『FFI ジャーナル』(225巻1号)		pp.46-53	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	末近 浩太	「中東政治研究におけるイスラーム主義：逸脱事例・パラドクス・選択バイアス」	2019年10月	日本国際政治学会2019年度研究大会・分科会C-3「中東・ポストIS期におけるイスラーム主義運動と中東政治」新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ	
2	末近 浩太	Panel 6 “Visualize the Symbolic Representation of Refugees,” International Conference on Resources and Human Mobility (国際会議における司会)	2019年12月	Mahidol University International College, Mahidol, THAILAND	
3	小杉 泰	“A Success Brings More Challenges: Next Steps in Islamic Economic Studies and Resurgent Islamic Jurisprudence”	2019年10月	10th International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2019), Bangi, Malaysia	
4	小杉 泰	「宗教をめぐる新しい布置図とイスラーム法源学の復権」	2020年1月	シンポジウム「現代イスラーム世界を眺望する—研究の最前線」、立命館大学	
5	小杉 泰	“The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan”	2020年2月	International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism, Kyoto University	

6	小杉 泰	"The Pursuit of Islamic Economic Studies in Japan and in the Global Society: Objectives and Strategies for Knowledge Generation"	2020年2月	International Workshop on Waqf Revitalization, Ritsumeikan University	
7	黒田 彩加	"Analyzing Islam and Democracy in the Post-Arab Spring Era: An Egyptian Islamic Thinker's Concept of Islamic Civilization"	2019年10月	10th International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2019), Institute of Islam Hadhari, The National University of Malaysia	
8	黒田 彩加	「アメリカ・ムスリム知識人による過激派批判と国際政治の動向——「アラブの春」以降のイスラーム思想のゆくえ」	2020年1月	シンポジウム「現代イスラーム世界を眺望する——研究の最前線」、立命館大学	
9	池端 蒔子	"Collective Islamic Legal Decisions on Contemporary Medical Issues: Emerging Common Norms in the Islamic World"	2019年10月	10th International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2019), Bangi, Malaysia	
10	馬場 多聞	「13世紀の東アフリカ・アデン間交易」	2019年12月	第41回立命館史学会大会、於立命館大学衣笠キャンパス	
11	馬場 多聞	「中世イエメンにおける奴隷」	2020年1月	2019年度公開セミナー「アラビア半島の歴史・文化・社会」第14回、於東京大学駒場キャンパス	
12	馬場 多聞	The Possibility of Healthy Cassava Seeds Production in Cambodia", The 11th ICERD conference	2020年2月	The 11th ICERD conference, Siem Reap	Nguyen, N. C., Nomura, H., and Ito, K.
13	馬場 多聞	"Current Status and Future Prospects for Cassava Business in Cambodia: From a Perspective of Distribution Channel"	2020年2月	The 11th ICERD conference, Siem Reap	Ito, K., Nguyen, N. C., Nomura, H.
14	馬場 多聞	"Movement of Cassava Stems and Willingness to pay for Clean Seedlings in Vietnam"	2020年2月	The 11th ICERD conference, Siem Reap	Nguyen, N. C., Nomura, H., and Ito, K.
15	馬場 多聞	Knowledge, Attitude, and Practice (KAP) Improvements may help Prevent Cassava Mosaic Disease and affect Farmers Willingness to pay for Healthy Seedlings in Dong Nai, Vietnam"	2020年2月	The 11th ICERD conference, Siem Reap	Nomura, H., Nguyen, T. N., Nguyen, N. C., Ito, K., Takahashi, Y., and Yabe, M.
16	鳥山 純子	エジプトにおける高齢者介護をめぐるジェンダーポリティクス	2019年12月	第79回ジェンダーセッション	
17	鳥山 純子	フィールドにおける性、このやっかいなる好機	2020年1月	2019年度第1回フィールドサイエンス・コロキウム「フィールドで出会う性、性から出会うフィールド—イスラームとジェンダーの関りから」	
18	鳥山 純子	Searching for performative analysis of interactions/ social positions in the Middle East: The newest challenge of writing ethnography on the Middle East in Japan	2020年2月	Seminaire Parcours anthropologiques dans le monde arabe (ethnographie, literature, arts, archeologie, orientalisme)	
19	鳥山 純子	Encountering with the Middle East for Japanese ethnographers: A thought around "politeness"	2020年3月	Enquetes ethnographiques au Japon, retours et discussions autour d' experiences recentes	
20	鳥山 純子	The elderly care in contemporary Cairo and its possible effect on the patriarchal family	2020年3月	Seminaire Dynamique du genre en Afrique	
21	吉川 卓郎	"Islamic democracy vs. regime security: a case from the Muslim Brotherhood in the Hashemite Kingdom of Jordan."	2019年10月	2019 Global Forum on Modern Direct Democracy, National Chung-Hsing University	
22	山下 範久	「史観」批判は出会えるか?	2019年12月	HMC オープンセミナー特別回(社会科学と文学の対話:『国書がむすぶ外交』「総論」を素材に)招待講演	
23	山下 範久	Evaporation of history?: History Communication in the Age of the Post-truth and the Post-human	2020年2月	Asia and Japan: Perspectives of History, An International Symposium Organized by Asia-Japan Research Institute Ritsumeikan University(招待講演)	
24	阿良田 麻里子	シンポジウム「給食に求められる情報開示の在り方を考える」司会・パネリスト	2019年11月	日本給食経営管理学会学術総会	
25	嶋田 晴行	立命館大学(国際地域研究所、国際関係研究科)/JICA共催シンポジウム「アフガニスタンの過去、現在、未来—持続可能な平和を目指して」パネル・ディスカッションモデレーター	2019年10月	立命館大学	
26	アシャディオノ フィトリオ	Coffee Cultivation and Rural Development in the Era of Climate Change: The Case of Solok Region West Sumatra	2019年10月	5th International Sustainable Technology, Energy and Civilization Conference (ISTECC 2019): International Colloquium on Asian Paths of Civilization and Development	
27	アシャディオノ フィトリオ	Tea Cultivation and Terroir Framework: Developing the Terroir Concept for the Tea Industry	2020年1月	5th Annual Colloquium of the Global Tea Initiative University of California, Davis	
28	ハシヤン アンマール	"How Can Historical Fiqh Resources in Arabic be Utilized in Contemporary Waqf Studies? -The Case of Shafi'i jurisprudence-"	2019年10月	INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON ISLAM CIVILIZATION AND SCIENCE (ISICAS 2019)	
29	ハシヤン アンマール	「現代イスラーム経済におけるワクフ研究の意義と展望:古典的理論とマレーシアでの新動向を中心に」	2019年12月	第12回AJI 研究最前線セミナー	
30	ハシヤン アンマール	「イスラームの市場と資本主義の市場原理の拮抗—いしえの商都アレppoの情景を回顧しつつ—」	2020年1月	「現代イスラーム世界を眺望する:研究の最前線」(立命館大学)	

31	ハシヤン アンマール	“Revitalization of Waqf For A Sustainable Development in Indonesia: Cash Waqf as an Alternative Waqf Instrument”	2020年2月	International workshop on Waqf Revitalization: Prospects for Waqf Research and Revitalization in South East Asia	
32	ハシヤン アンマール	“Activation, Revitalization, or Innovation? Theoretical Considerations for Studies on Waqf Revitalization in Southeast Asia”	2020年3月	International Workshop on Prospects of Islamic Economics Research in Southeast Asia, Organized by Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	設置記念講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く」	衣笠キャンパス以学館2号ホール	2019年11月	160名	国際地域研究所、アジア・日本研究所
2	「現代イスラーム世界を眺望する—研究の最前線—」	衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム	2020年1月	40名	国際地域研究所、アジア・日本研究所、科研費基A(小杉)、基B(横田)、基B(末近)、新学術領域研究(末近)
3	「紛争を生きる ジャーナリストが見た戦時下の中東」	京都経済センター第会議室6-C	2020年1月	82名	国際地域研究所、新学術領域研究(末近)

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	末近 浩太	「「中東・イスラーム研究」とは何か：地域研究からの新たな挑戦」	立命館大学中東・イスラーム研究センター設置記念講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く：国際研究教育拠点設置の意義と抱負」於立命館大学	2019年11月4日
2	末近 浩太	「宗教と政治の関係をどう捉えるか：「幕末」としての中東現代史」	立命館西園寺塾2019年度梅原文明コース	2019年12月7日
3	末近 浩太	「「偉人伝」の野口英世（現代のことば）」	『京都新聞』夕刊 1面	2019年11月1日
4	末近 浩太	「バンコクのムスリム街（現代のことば）」	『京都新聞』夕刊 1面	2020年1月7日
5	末近 浩太	「過激思想の拡散（現代のことば）」	『京都新聞』夕刊 1面	2020年3月3日
6	末近 浩太	コメント（イランによるイラク米軍施設攻撃について）	関西テレビ「報道ランナー」	2020年1月8日
7	小杉 泰	「研究という人生の喜び：中東・イスラーム研究の沃野から」	立命館大学中東・イスラーム研究センター設置記念講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く：国際研究教育拠点設置の意義と抱負」於立命館大学	2019年11月4日
8	円城 由美子	「紛争後社会の平和構築とジェンダーの平等」	SDGs 関連研究制度セミナー「紛争影響地におけるSDGs16と社会・経済的課題との架橋：中東の事例から」	2020年1月28日
9	鳥山 純子	共同研究会 国立民族学博物館「個—世界論—中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム」		2015年10月1日 ～2020年9月30日
10	鳥山 純子	外からの中東、中からの中東：中東ジェンダー学のスズメ	新時代の中東・イスラーム研究を拓く 於立命館大学 衣笠キャンパス以学館2号ホール	2019年11月4日
11	鳥山 純子	ムスリムの日常、あるいはイスラームのある日常—あるエジプトの家族の話—	日本中東学会第25回公開講演会「素顔の中東・イスラーム」 於山口市市民会館	2019年11月17日
12	鳥山 純子	講演会「紛争を生きる ジャーナリストが見た戦時下の中東」司会	京都経済センター第会議室6-C	2020年1月25日
13	鳥山 純子	Column #10 中東北アフリカにおける児童婚が考えさせるもの	イスラーム映画祭 Archive 2015-2020 50FILMS	2020年3月14日
14	嶋田 晴行	「中村哲医師殺害事件に関するコメント」	共同通信社インタビュー（京都新聞、北海道新聞、高知新聞などへ掲載）	2019年12月5日
15	嶋田 晴行	「アフガンへ関心持ち続けて」私見卓見	日本経済新聞	2020年1月23日
16	池端 蒔子	講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く：国際研究教育拠点設置の意義と抱負」司会	立命館大学中東・イスラーム研究センター設置記念講演会「新時代の中東・イスラーム研究を拓く：国際研究教育拠点設置の意義と抱負」於立命館大学	2019年11月4日

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	黒田 彩加	Hadhari Global Network	イスラーム文明研究ハダリー賞	『イスラーム中道派の構想力：現代エジプトの社会・政治変動のなかで』（ナカニシヤ出版、2019年2月）に対して	2019年10月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	末近 浩太	計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究	基盤研究 B	2019年4月	2022年3月	代表者
2	末近 浩太	越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争	新学術領域研究 計画研究	2016年4月	2021年3月	代表者
3	末近 浩太	グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立	新学術領域研究 総括班	2016年4月	2021年3月	分担者
4	末近 浩太	関係性を中心とした融合型人文社会科学のための国際学術ネットワークの解明	新学術領域研究 国際活動支援班	2016年4月	2021年3月	分担者
5	末近 浩太	東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・篡奪に関する研究	基盤研究 A	2018年4月	2023年3月	分担者
6	末近 浩太	現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済：過激派と対峙する主流派	基盤研究 A	2019年4月	2024年3月	分担者
7	末近 浩太	紛争地域における「記憶」と「安全保障化」のメカニズムー「東地中海」を事例に	基盤研究 B	2019年4月	2023年3月	分担者
8	末近 浩太	現代中東における政治と宗教ー「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に	基盤研究 B	2019年4月	2022年3月	分担者
9	ハシヤン アンマール	イスラーム経済の新潮流：ワクフ（寄進財産）をめぐる法学革新と代替的福祉制度の創出	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表者
10	吉川 卓郎	ヨルダン政治と部族社会：南部の政治・社会・経済に関する現地調査を中心に	国際共同研究加速基金	2019年4月	2022年3月	代表者
11	吉川 卓郎	アラブ王制持続の総合的研究 ヨルダン・ハシミデ王国とその周辺空間を巡って	基盤研究 C	2017年4月	2020年3月	代表者
12	吉川 卓郎	現代中東における政治と宗教ー「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に	基盤研究 B	2019年4月	2022年3月	分担者
13	小杉 泰	現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済：過激派と対峙する主流派	基盤研究 A	2019年4月	2024年3月	代表者
14	嶋田 晴行	「難民」問題と援助の関係性-アフガニスタン人を例に	若手研究	2019年4月	2021年3月	代表者
15	鳥山 純子	ポスト・アラブの春時代における中東ムスリムのグローバル移動と社会関係の複合的再編	国際共同研究加速基金	2019年4月	2024年3月	分担者
16	鳥山 純子	感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	基盤研究 B	2018年4月	2022年3月	分担者
17	鳥山 純子	イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究	基盤研究 A	2016年4月	2020年3月	分担者
18	山下 範久	歴史社会学の（再）基礎づけ：グローバル・ヒストリーのメタ分析	基盤研究 C	2017年4月	2020年3月	代表者
19	池端 露子	現代イスラーム世界の分断と統合：グローバル法学による合意形成と宗派対立の克服	特別研究員奨励費	2019年4月	2022年3月	

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	末近 浩太	現代アラブ諸国における紛争和解・解決に関する総合的研究	JSPS 特別研究員研究推進プログラム (学内)	2019年4月	2020年3月	代表者
2	末近 浩太	中東紛争と平和構築 (紛争・平和構築研究プロジェクト)	国際地域研究所 重点研究プログラム (学内)	2019年4月	2020年3月	代表者
3	末近 浩太	アジア・イスラーム	アジア日本研究所 重点研究プログラム (学内)	2019年4月	2020年3月	代表者
4	小杉 泰	アジア的文明・発展経路	アジア日本研究所 重点研究プログラム (学内)	2019年4月	2020年3月	代表者

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1	立命太郎	特許（国内）	本人単独	筆頭発明者	****	****	****	日本